

# 妊娠糖尿病または糖尿病合併妊娠におけるインスリン療法 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間:2019年 3月 5日 ~ 2021年 3月 31日**

## 〔研究課題〕

糖代謝異常妊婦におけるインスリン療法の現状と問題点

**〔研究目的〕** 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠における血糖コントロールの現状を把握するためカルテによる患者の背景、投与インスリンの種類、治療経過、児への影響などの集積・解析を行います。

## 〔研究意義〕

糖代謝異常妊婦（妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠）では周産期の母体・児への合併症予防のため、厳格な血糖コントロールが重要であります。一部の妊娠糖尿病の方には自己血糖測定（SMBG）が保険適応となり、早期インスリンの導入が可能となりました。しかし、妊娠糖尿病に対する SMBG の保険適応が限られており、インスリン投与による妊娠期間の血糖コントロールが適切に行われてないことが懸念されます。本研究から妊娠期間におけるインスリン療法の現状と問題点が明らかになれば、有効な治療介入の創出や、注意喚起する根拠となります。

## 〔対象・研究方法〕

調査対象になるのは、2016年7月22日から2018年2月8日までに帝京大学医学部附属病院産婦人科で分娩された糖代謝異常妊婦（妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠）の患者様とその出生児です。診療記録からデータのみを抽出するため、患者様に負担が生じることはありません。抽出する項目は、母体の年齢、妊娠糖尿病の分類、糖尿病合併妊娠、インスリン投与の有無、投与されている場合はインスリンの種類、インスリン開始妊娠週数、分娩直前の1日インスリン総投与量、使用薬剤の有無、出生児に対しては在胎週数、出生時体重、低血糖の有無などです。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 薬剤部

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究結果は学術集会や医学論文として発表する予定ですが、個人が識別できる方法では公表せずプライバシーの保護に十分配慮いたします。

**対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:薬剤部 副主事 岩下 智子

研究分担者:薬剤部 部長 安野 伸浩

住所:板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 30102 ]